

令和7年度第2回狭山市立図書館協議会会議録

開催日時 令和8年3月18日（水）
午前10時～午前11時30分

開催場所 中央図書館 視聴覚室

出席者 田中会長 宮原委員 古谷委員 菅野委員
宮崎委員 田地委員 土屋委員 小暮委員

欠席者 小浦委員 長谷川委員

事務局 滝嶋教育長 増島生涯学習部次長
（中央図書館） 原館長 平沢副館長 梶主査 粕谷主査
（狭山台図書館） 登坂館長

傍聴者 なし

会議の経過

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議題

(1) 令和7年度事業報告（令和8年1月まで）について
会議資料に基づき事務局から説明し、質疑応答の後、承認された。

質疑応答等

特になし

(2) 令和8年度事業計画について
会議資料に基づき事務局から説明し、質疑応答の後、承認された。

質疑応答等

委員 電子書籍を導入するにあたり、どの事業者のサービスを使用するのか。
事務局 既存の図書館システムと連携できるものを予定している。

委員 ブックスタートを開始するタイミングはいつか。

- 事務局 4月1日以降に生まれた子どもの出生届がされた際、または子ども医療費受給資格者証の受給手続きの際に本を配布する予定である。
- 委員 その後司書による読み聞かせの機会があるとの説明があったが、どのタイミングで行うのか。
- 事務局 5月以降に総合子育て支援センターや子育てプレイスなどの施設で実施される事業の取り組みの一つとして、図書館司書が外向き、配布した本の読み聞かせ等を行うことを想定している。
- 委員 ブックスタートという名称については商標登録されており、絵本の配布と読み聞かせがセットである必要がある。名称の使用について確認をした方がよい。
- 事務局 名称としては「はじめてのえほん事業」として担当課においてブックスタート協会と交渉をしている。
事業の実施方法については工夫して行っていきたい。
- 委員 図書館の建替えについて、令和8年度には予算計上されていないが、進捗状況はいかがか。
- 事務局 図書館の建替えについては、狭山市公共施設再編計画に位置付けられているが、立地や図書館の在り方などを検討する必要があり、具体的になった時点で予算化をする予定である。
- 委員 建物自体も古く、毎年の修繕費用もかかることから庁内全体で進めてもらいたい。
- 委員 狭山台図書館で実施している工作等のイベント事業について、参加費は徴収しているのか。
- 事務局 徴収していない。
- 委員 予約の多い本は貸出までに時間を要するので、電子書籍を導入することにより利用状況の緩和に繋がる選書をしてほしい。
また、現在の予約枠数は5件となっているが、予約の多い本の順番待ちで上限に達してしまうことがあるので、電子書籍分は別に予約枠を設定するなど、予約枠数を増やしてほしい。
- 委員 狭山台図書館で実施しているビブリオバトルについて、スタンプカードを集めると500円貰えるとのことだが、現金はいかかなものか。
- 事務局 現金ではなく、図書カードを渡している。また、しおりなどの景品では大人の参加が少ない傾向もあり、試験的に実施しているところである。今後は参加者等の意見も聞きながら計画を立てていきたい。

委員 生まれた子に絵本を配布するという事業は他市ではわりと実施されているので、狭山市でも推進してほしい。
事業が定着するまでに時間もかかり、親子で取り組んでほしいので保育所等で宣伝活動をしてはいかがか。
また、狭山台図書館でのビブリオバトルについても小中学校への宣伝もあってもよいと思う。
小中学校や地元企業等と連携した事業を実施することにより地域活性化や繋がり構築を図ってほしい。

委員 中学校図書委員によるおすすめ本とPOPの展示については全校が対象か。
事務局 今年度については、図書委員に限らず全中学校の生徒に対して依頼をしたところである。

委員 おすすめ本の紹介については中学校図書委員だけでなく、小学校にも図書委員がいるので各学校の図書委員によるおすすめ本を移動図書館車に載せて巡回することで、読書の推進に繋がるのではないか。
図書館から教育委員会へ情報発信してほしい。

委員 最近は書店や図書館で独自のテーマを決めて本の紹介をしていることが多く見受けられる。
POPも面白く工夫したら、本に対する興味関心に繋がるのではないか。
子どもたちの間ではシール交換が流行っているので、ビブリオバトルや夏休みのイベント等で活用できないか検討してはいかがか。

(3) その他

- ・現在実施している「狭山市立図書館利用者アンケート」について
- ・令和8年4月以降改定の第5次狭山市総合計画、第4次狭山市教育振興計画について

4 閉会